

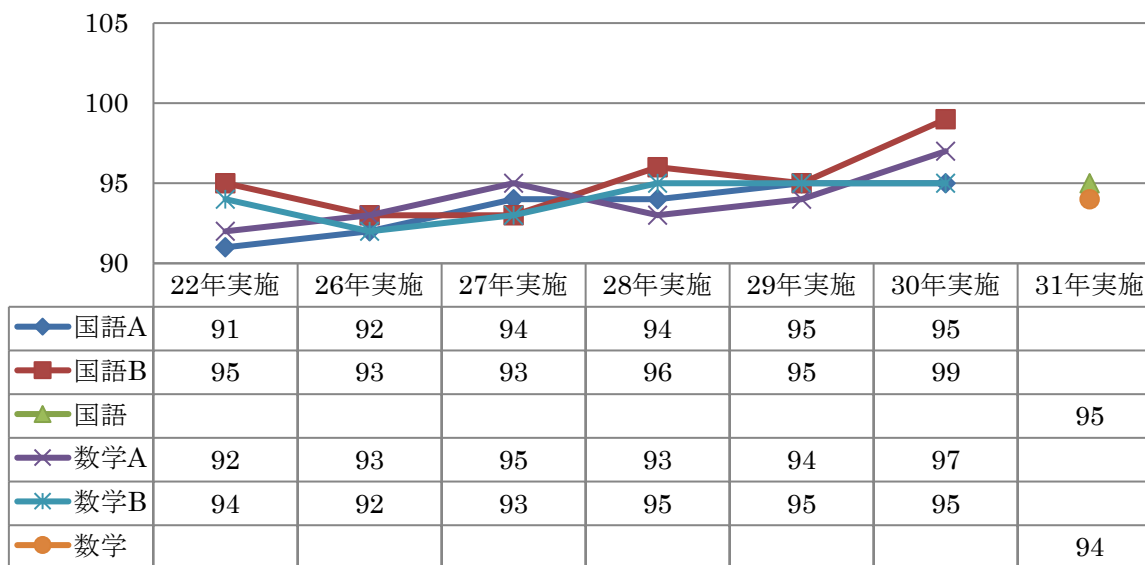
全国学力学習状況調査の結果公表

嘉麻市では、全国学力・学習状況調査の結果と学力分析検査の結果を学校のホームページ等で公表しています。今回は本年4月に行われた全国学力学習状況調査の結果の推移等（3年生）を掲載いたします。

本年4月の調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国語	数学
本校	95	94
嘉麻市	97	95
全国	100	100

年度別の結果の推移



今回の全国学力学習状況調査の結果の分析

- 本年度からテストの形式が変更になり、経年比較はできないが、平均正答率の全国との差は、国語：10.8%、数学：14.8%、英語：15%となっている。さらに、教科毎に正答率50%以下であった問題を見てみると、国語：情報を整理し内容をとらえる問題（1二）、封筒の書き方（1四）話題をとらえて自分の考えをもつ（2三）数学：連立二元方程式（2）、反比例（4）、グラフ座標（6-1）、数学的に説明する（6-2）、図形（7-3）、資料活用問題（8）英語：リスニング（4）、説明文の理解（7）、書かれた内容に対して自分の考えを示す（8）、1人称複数過去時制の肯定文（9-2 ②）、与えられた情報に基づいて説明文を書く（9-3 ②③）、また、英語の「話すこと」に関しては、全国的に見ても正答率は低いが、交通手段に関する基本的な表現（1-3）では正答率6.8%、聞いた内容についてやりとりをする（2）では0%という結果の通り、「活用に関する」問題に課題があった。
- 質問紙「平日の1日あたりの勉強時間」を見ると、30分以上1時間未満が25.4%と一番多く、次に2時間以上3時間未満が20.3%であった。このことから勉強する生徒と、しない生徒との差ができていているといえる。

今後の山田中学校の取り組み

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善に向けて、「書く活動」「話し合う活動」を取り入れた授業を単元に1回は実施する。
- 「思考・判断・表現（知識の活用）」に関する問題の計画的な実施に向けて県義務教育課資料ページを活用し、取組の充実を図る。
- 学習内容の定着を目指した分割授業・TT授業や補充指導、個別指導を行う。
- 生徒の家庭学習の実態を各家庭に知らせるとともに、「山田中学校家庭学習のすすめ」を配付し、家庭学習の定着を目指した取組の充実を図る。

今後の嘉麻市の取り組み

- 各学校が自校の課題を明確にするとともに、嘉麻市アクションプラン、嘉麻市学力向上全体構想をもとにした学力向上策を浸透・徹底させていくために、次の7点を中心に取組を進める。
- 学力向上プランを各教室に浸透・徹底させるためのPDCAサイクルについて指導助言を行う。
 - 学力向上を図る上で効果のあった取組について共有化を図る研修を企画・運営する。
 - 「思考力・表現力等を問う」定期考査の実施や授業評価の取組に対する指導助言を行う。
 - 校内研修や学校訪問において、思考力を発揮させ最善解を導き出す「かく力」を育成するための指導助言を行う。
 - 学力向上に向けた取組が組織的・計画的に実施できるための指導助言を行う。
 - 家庭学習の習慣化、個別化に向けた取組についての指導助言や支援を行う。
 - 主幹教諭研修会において、それぞれの学校種の課題に即応する研修内容を工夫する。